

モノづくり現場

エレクトロヒート技術最前線 ⑤

プライムアース EVエナジー

プライムアースEVエナジー（PEVE、静岡県湖西市、北田真治社長、0533・577・3111）は、トヨタ自動車向けの車載電池を手がける。工場からの二酸化炭素（CO₂）排出量をゼロにするトヨタの環境目標に沿い、PEVEは2020年にCO₂排出量を08年比で半減させるロードマップを描く。

宮城工場（宮城県大和町）では、19年8月に立ち上がったリチウムイオン電池（LIB）を生産する第4工場（B工場）を分析した。加

場では、15年の企画段階から工場全体を対象としたエネルギーの効率利用を検討。年産20万台と同規模の既存LIB工場を分析した。加

大規模ヒートポンプシステム



熱回収工夫、24%CO₂減

熱・冷却に関わるエネルギー使用が7割を占める、従来の蒸気ボイラ、大規模ヒートポンプシステムは、高砂熱学工業と共同で、宮城工場で構築した大容量空調加熱ヒートポンプ

熱・冷却に関わるエネルギー使用が7割を占め、従来の蒸気ボイラ、大規模ヒートポンプシステムは、高砂熱学工業と共同で、宮城工場で構築した大容量空調加熱ヒートポンプ

熱・冷却に関わるエネルギー使用が7割を占め、従来の蒸気ボイラ、大規模ヒートポンプシステムは、高砂熱学工業と共同で、宮城工場で構築した大容量空調加熱ヒートポンプ

熱交換器を選定し、装置を完成した。このほかトヨタやパナソニック環境エンジニアリング（大阪府吹田市）と生産工程のシンプル・スリム化や、排水処理の見直しなどを実施。この結果、第4工場の年間CO₂排出量は既存工場比で24%減となる、6563トンの達成を見通す。協和電機は「さらなるCO₂排出削減には技術革新やコスト努力が恵

熱交換器を選定し、装置を完成した。このほかトヨタやパナソニック環境エンジニアリング（大阪府吹田市）と生産工程のシンプル・スリム化や、排水処理の見直しなどを実施。この結果、第4工場の年間CO₂排出量は既存工場比で24%減となる、6563トンの達成を見通す。協和電機は「さらなるCO₂排出削減には技術革新やコスト努力が恵

熱交換器を選定し、装置を完成した。このほかトヨタやパナソニック環境エンジニアリング（大阪府吹田市）と生産工程のシンプル・スリム化や、排水処理の見直しなどを実施。この結果、第4工場の年間CO₂排出量は既存工場比で24%減となる、6563トンの達成を見通す。協和電機は「さらなるCO₂排出削減には技術革新やコスト努力が恵

【事業所概要】▽所在地 宮城県大和町 流通平1、0222・3353・0114▽主要生産品目 車載用ニッケル水素蓄電池、リチウムイオン蓄電池▽年間CO₂排出量 第4工場で年6563トンを予想（フル稼働時）